

2013年1月からNHKの大河ドラマ「八重の桜」が始まったこともあり、『同志社時報』も前号と前々号で新島八重に関する特集を組ませていただきました。今号でも、特集ではありませんが、新島研究会員の竹内力雄氏の「川崎尚之助致」という特別寄稿を掲載させていただきました。この特別寄稿の冒頭でも指摘されているように、私もこのドラマで八重の最初の夫が川崎尚之助であったことを知りました。私は、同志社中

学校1年生の時に、当時の校長であった久永省一先生に新島襄の伝記を教えてもらいましたが、新島襄は山本寛馬の妹の八重と結婚した、八重は再婚であったとしか教えてもらっていませんでした。ドラマでも函館での糶米調達事件や八重が東京で川崎尚之助と再会した場面が放送されていましたが、その糶米調達事件の顛末も詳細に竹内氏の特別寄稿で紹介されています。大河ドラマ「八重の桜」をきつかけに、私たちは、同志社に

関係する人たちに關して今まで知らなかった多くの事を知ることができるようになりました。『同志社時報』でも、今後も、機会があれば、「八重の桜」関連の話題を取り上げていくことになると思います。特集は「新しい学びのかたち」ということで、大学、女子大、中学校・高等学校、女子中学校・高等学校の新しい施設や取り組みを紹介させていただきました。現在、日本では、教育の質の向上を目指

し、生徒・学生には、これまでのような受け身の学習ではなく、主体的でアクティブな学習をさせようという教育改革が進行中です。そのための環境作りや取り組みが、本号でも紹介したように、同志社の諸学校でも行われています。同志社の教育も大きく変わります。

(中井)

●同志社広報委員会小委員会委員

ABC順・○印委員長

- | | | |
|------------------------|--------|---------|
| 幼稚園教諭 | 遠藤 藤 | 稚 繪 |
| 小学校事務長 | 藤井 宏 | 邦 弘 |
| 香里中学校・高等学校事務長 | 藤井 信 | 宗 郁 |
| 大学グローバル地域文化学部准教授 | 洪 立 | 石 川 |
| 大学神学部教授 | 伊藤 靖 | 史 史 |
| 大学法学部教授 | 鎌田 伸 | 一 史 |
| 中学校・高等学校事務長 | 川崎 清 | 浩 行 |
| 女子大学薬学部教授 | 貴志 幸 | 史 史 |
| 国際中学校・高等学校事務長 | 北 博 | 子 太 |
| 法人事務部長 | 北村 耕 | 賢 章 |
| 女子大学総務部広報課長 | 小林 潔 | 悟 悟 |
| 大学生命医科学部准教授 | 小林 潔 | 悟 悟 |
| 女子大学表象文化学部教授 | 溝畑 中 | 井 Peter |
| 大学理工学部教授 | NEFF 二 | 瓶 晃 |
| ○大学文学部教授 | NEFF 二 | 瓶 晃 |
| 大学グローバル・コミュニケーション学部准教授 | 二瓶 彰 | 子 典 |
| 女子大学学芸学部助教 | 西村 幸 | 昌 肇 |
| 大学スポーツ健康科学部教授 | 西村 幸 | 昌 肇 |
| 大学商学部准教授 | 及川 千 | 尋 裕 |
| 大学心理学部准教授 | 及川 千 | 尋 裕 |
| 大学政策学部教授 | 太田 中 | 井 博 |
| 大学企画部広報室長 | 角谷 寺 | 井 博 |
| 法人事務部校友同窓課長 | 角谷 寺 | 井 博 |
| 大学社会学部准教授 | 田中 鳥 | 湯 優 |
| 女子大学現代社会学部准教授 | 田中 鳥 | 湯 優 |
| 大学文化情報学部准教授 | 津村 宏 | 秋 千 |
| 女子中学校・高等学校事務長 | 津村 植 | 村 巧 |
| 女子大学企画部広報課長 | 植村 山 | 口 晃 |
| 国際学院事務長 | 植村 山 | 口 晃 |
| 女子大学生活科学部准教授 | 山口 米 | 田 祐 |
| 大学経済学部准教授 | 山口 米 | 田 祐 |
| | 四谷 晃 | 一 晃 |

●編集協力 アルカダッシュ

●同志社時報の申し込み

- ・送料(1冊分200円)のみのご負担でご購読いただけます。
- ・お申込は、綴じ込みハガキをご利用ください。
- ・宛先 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学企画部広報課

同志社時報 第136号
 編集人 中井 悟
 発行人 水谷 誠
 発行 学校法人同志社
 同志社大学広報課同志社時報係
 電話 (075) 251-3120
 印刷所 日本写真印刷株式会社
 2013年10月1日発行